

学会企画・トークセッション「道南・函館における学びの環境を見つめる」

【日時】10月31日(日) 10時から11時30分過ぎまで

【会場】教育大4号館(中庭の校舎) 特別教室からオンライン配信

09時30分 ゲストのみなさん集合、打ち合わせ

資料提示用機材の確認、全体進行の確認

09時50分 接続・配信開始

---

10時00分 トーク開始

趣旨説明、ゲストスピーカーの紹介、進行のめやす(山口)



10時10分 実践の紹介(1) 神野藤先生から

「Scratchを活用した算数実践、子どもたちが培う学びの”わざ”」

10時20分 こんなこと聞いてみたい(福崎先生から)

10時25分 実践の紹介(2) 福崎先生から

「”GM”としての司書教諭:各先生方、学校司書、公立図書館とを繋ぐ手法」

10時35分 こんなこと聞いてみたい(対馬先生から)

10時40分 実践の紹介(3) 対馬先生から

「生徒がのびのびと個性を發揮できる、学びの環境づくり」

10時50分 こんなこと聞いてみたい(神野藤先生から)



10時55分 実践の紹介(4) 神野藤先生からの「もう一言」

「子どもが”わざ・すべ”を身に付けられる居場所、安心感とは」

11時02分 実践の紹介(5) 福崎先生からの「もう一言」

「読むこと、調べることで、子どもの暮らしが潤う”栄養分”とは」

11時09分 実践の紹介(6) 対馬先生からの「もう一言」

「生徒が”素顔”を見せる瞬間、教員が”わたし”を語る場面とは」

11時16分 クロス・トーク(おたがいに感想の交換)



11時30分ごろ まとめ

お礼にかえての一言、ふた言(山口)

---



もう少しだけ詳しく「こんな感じで進めたい」のココロ（^^）

09時30分 ゲストのみなさん集合、打ち合わせ

資料提示用にノートPCを一つ用意しています。USBメモリなどをご用意になった写真・資料類を、デスクトップに置いて頂ければ助かります（個人PCの接続も可能にしておきます）。その後、全体の流れを簡単に確認させていただきます。

09時50分 接続・配信開始

10時00分 トーク開始

私の方からごく簡単に趣旨を説明して、先生方をご紹介します。トークの進め方にも触れておきます。

♪♪♪♪ 第1ラウンド ♪♪♪♪♪

10時10分 実践の紹介 (1) 神野藤先生から

「Scratchを活用した算数実践、子どもたちが培う学びの”わざ”」

10時20分 こんなこと聞いてみたい(福崎先生から)

神野藤先生からは、主に算数での実践を中心にご紹介頂きながらもさりげなく、児童が学びを広げる／深めるための技能(汎用的な力)を意識した論点を最後の方に含めて頂けると幸いです。時間が限られてますので、福崎先生から一つだけ質問を出していただき、神野藤先生にご回答ねがいます。

10時25分 実践の紹介 (2) 福崎先生から

「”GM”としての司書教諭:各先生方、学校司書、公立図書館とを繋ぐ手法」

10時35分 こんなこと聞いてみたい(對馬先生から)

福崎先生には、司書教諭として奔走されている実践の一部を紹介頂きます。ある時は縁の下から、また別の時には前面に立って子どもたちの調べ活動を支えるお立場ですので、探究活動における一種の「GM(ゼネラル・マネージャー)」と呼べるかと思えます。様々な方々とコラボを進める「核」の所をご教示ください。質問は、對馬先生からお一つ出していただきます。

10時40分 実践の紹介 (3) 對馬先生から

「生徒がのびのびと個性を発揮できる、学びの環境づくり」

10時50分 こんなこと聞いてみたい(神野藤先生から)

對馬先生には、生徒たちが自らの得意技や関心を存分に出せる雰囲気、環境について、特活や総合の取り組みを例にご紹介いただきます。以前お話しを伺ったところ、AETの先生方をはじめ動きやすいお立場の方々が活躍とのことでした。「風通しの良さ」の秘訣をぜひ拝聴したいです。質問は神野藤先生からお願いします。

♪♪♪♪ 第2ラウンド ♪♪♪♪♪

10時55分 実践の紹介 (4) 神野藤先生からの「もうひと言」

「子どもが”わざ・すべ”を身に付けられる居場所、安心感とは」

「学習技能の定着」を厳しく追究しすぎると、学ぶ楽しさから遠ざかる恐れも同時にあります。どうすれば気持ちよく、安心して学ぶ意欲を高められるのか、「先生や親のため」ではなく自ら楽しさ、居心地の良さを感じることでできる環境、雰囲気などについてご示唆ください。

11時02分 実践の紹介 (5) 福崎先生からの「もうひと言」

「読むこと、調べることで、子どもの暮らしが潤う”栄養分”とは」

神野藤先生と同じく、本読みや調べものが、子どもたちの知識欲をゆったりと満たしたり、暮らしの安心感を得ることに繋がってほしいと考えた時、私たちはどんな準備や心構えをすればよいのでしょうか。あるいは逆に「出たとこ勝負」ぐらいの気持ちがいいのでしょうか。お考えをお聞かせください。

11時09分 実践の紹介 (6) 對馬先生からの「もうひと言」

「生徒が”素顔”を見せる瞬間、教員が”わたし”を語る場面とは」

先日のお話を拝聴する中で、先生方や職員のみなさん、地域の方々が「わたし(一人称)」の顔、“素の自分”を見せて生徒に接しておられることが、子どもたちの意欲ややる気につながっているのかも？と(勝手に)予想しています。それに関するご意見があれば教えて頂きたいですし、もし少し異なる視点や糸口があれば、そちらからご説明頂くのもウェルカムです。

11時16分 クロス・トーク(おたがいに感想の交換)

「第2ラウンド」は、お一人6、7分ずつとってはいますが、あまり気になさり過ぎず、様子を見ながら残り時間をフリートークで進めたいと思います。最後に、まとめとお礼を私から申し上げるつもりですが、最大延長しても11時40分ごろに終わるつもりです。

